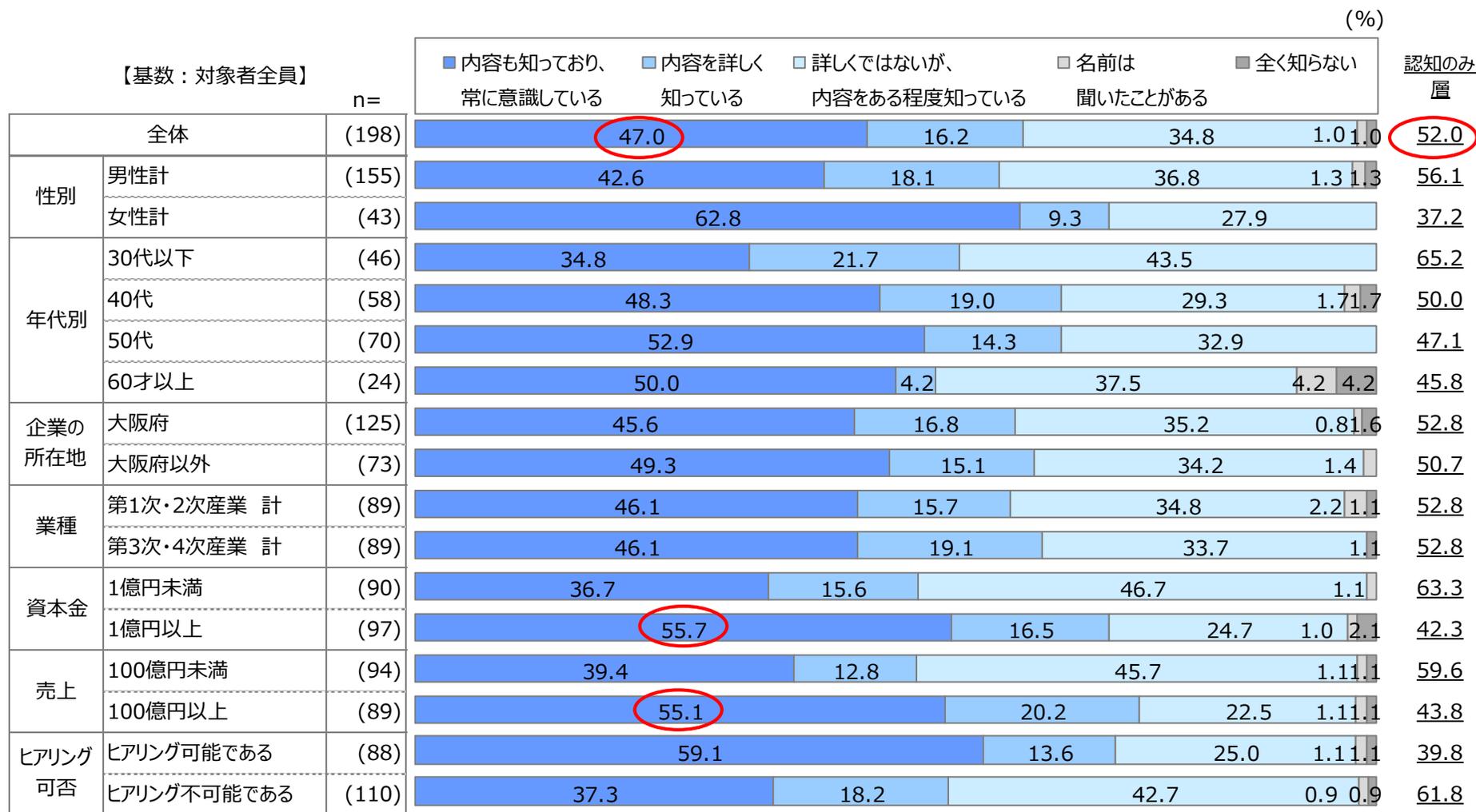


リサーチ結果

第2章 : 企業としてのSDGsおよびESG認知、取り組むメリット

質問文

あなた（全社的な視点を有する方）は、【（1）SDGs】について、どれくらいご存知ですか。それぞれ、下記の中から最も近いものをひとつだけお知らせください。



SDGs意識あり層47.0%、認知のみ層52.0%、全く知らない人は1.0%で、ほとんどの企業がSDGsを知っており、約半分が常に意識していた。
資本金・売上が多い企業は意識している割合が多い。

【基数：対象者全員】		n=	(%)					認知のみ 層
			■ 内容も知っており、 常に意識している	■ 内容を詳しく 知っている	□ 詳しくではないが、 内容をある程度知っている	□ 名前は 聞いたことがある	■ 全く知らない	
全体		(198)	47.0	16.2	34.8	1.0	1.0	52.0
従業員数	10人未満	(31)	41.9	16.1	38.7	3.2		58.1
	10人～100人未満	(41)	31.7	7.3	58.5	2.4		65.9
	100人～500人未満	(41)	34.1	14.6	48.8	2.4		63.4
	500人～3,000人未満	(45)	55.6	20.0	24.4			44.4
	3,000人以上	(37)	73.0	21.6	2.7	2.7		27.0
営業エリア	日本国内	(196)	46.9	16.3	34.7	1.0	1.0	52.0
	アジア地域	(102)	54.9	16.7	25.5	2.0	1.0	44.1
	大洋州地域	(34)	61.8	14.7	20.6	2.9		35.3
	北米地域	(62)	58.1	19.4	19.4	1.6	1.6	40.3
	中南米地域	(37)	56.8	21.6	16.2	2.7	2.7	40.5
	欧州地域	(55)	58.2	18.2	21.8	1.8		40.0
	中東地域	(36)	61.1	16.7	16.7	2.8	2.8	36.1
	アフリカ地域	(30)	60.0	26.7	10.0	3.3		36.7
日本国内事業のみ	(92)	39.1	15.2	44.6	1.1		59.8	
所属部署	設計製造販売・労務人事	(58)	41.4	13.8	41.4	1.7	1.7	56.9
	広報・CSR・経営企画	(75)	54.7	18.7	26.7			45.3
	取締役・代表	(42)	33.3	16.7	45.2	2.4	2.4	64.3
	その他	(23)	60.9	13.0	26.1			39.1
所属機関	関西SDGsプラットフォーム	(146)	50.7	15.8	33.6			49.3
	関西経済連合会	(71)	50.7	23.9	21.1	1.4	2.8	46.5
	大阪商工会議所	(66)	48.5	12.1	34.8	3.0	1.5	50.0

従業員数が500人以上の企業、日本以外に営業エリアが広がっている企業はSDGs意識あり層が多い。
所属部署別に見ると、広報・CSR・経営企画は意識あり層が多いが、取締役・代表は少なかった。

		【基数：対象者全員】	n=					認知のみ 層
			■ 内容も知っており、 常に意識している	■ 内容を詳しく 知っている	■ 詳しくではないが、 内容をある程度知っている	■ 名前は 聞いたことがある	■ 全く知らない	
	全体	(198)	47.0	16.2	34.8	1.0	1.0	52.0
SDGs 意識度合	意識あり層	(93)	100.0					-
	認知のみ層	(103)	31.1		67.0		1.9	100.0
SDGs 取組状況	社員が【個人レベル】で学んでいる	(86)	47.7	12.8	39.5			52.3
	社員が【企業レベル】で学んでいる	(63)	71.4	12.7	15.9			28.6
	【部署レベル】で取り組んでいる	(47)	59.6	23.4	17.0			40.4
	【事業部レベル】で取り組んでいる	(39)	76.9	12.8	10.3			23.1
	【企業・団体レベル】で取り組んでいる	(72)	69.4	19.4	11.1			30.6
	【グループレベル】で取り組んでいる	(20)	75.0	25.0				25.0
	取り組んでいない／詳しい取り組み内容は分からない	(25)	4.0	8.0	80.0		8.0	96.0
	社員レベル	(124)	53.2	14.5	32.3			46.8
	部署レベル	(65)	66.2	18.5	15.4			33.8
企業・団体レベル	(75)	70.7	18.7	10.7			29.3	
取り組んでいない	(25)	4.0	8.0	80.0		8.0	96.0	
SDGs 取組目的 CSR	社会貢献／CSRの一環 あてはまる	(133)	44.4	19.5	35.3		0.8	55.6
	社会貢献／CSRの一環 あてはまらない	(65)	52.3	9.2	33.8		1.5	3.1
SDGs 取組目的 万博	大阪・関西万博のため あてはまる	(31)	64.5	16.1	19.4			35.5
	大阪・関西万博のため あてはまらない	(167)	43.7	16.2	37.7		1.2	1.2

SDGsに部署レベル、企業・団体レベルで取り組んでいる企業で、SDGs意識あり層が多かった。

【基数：対象者全員】

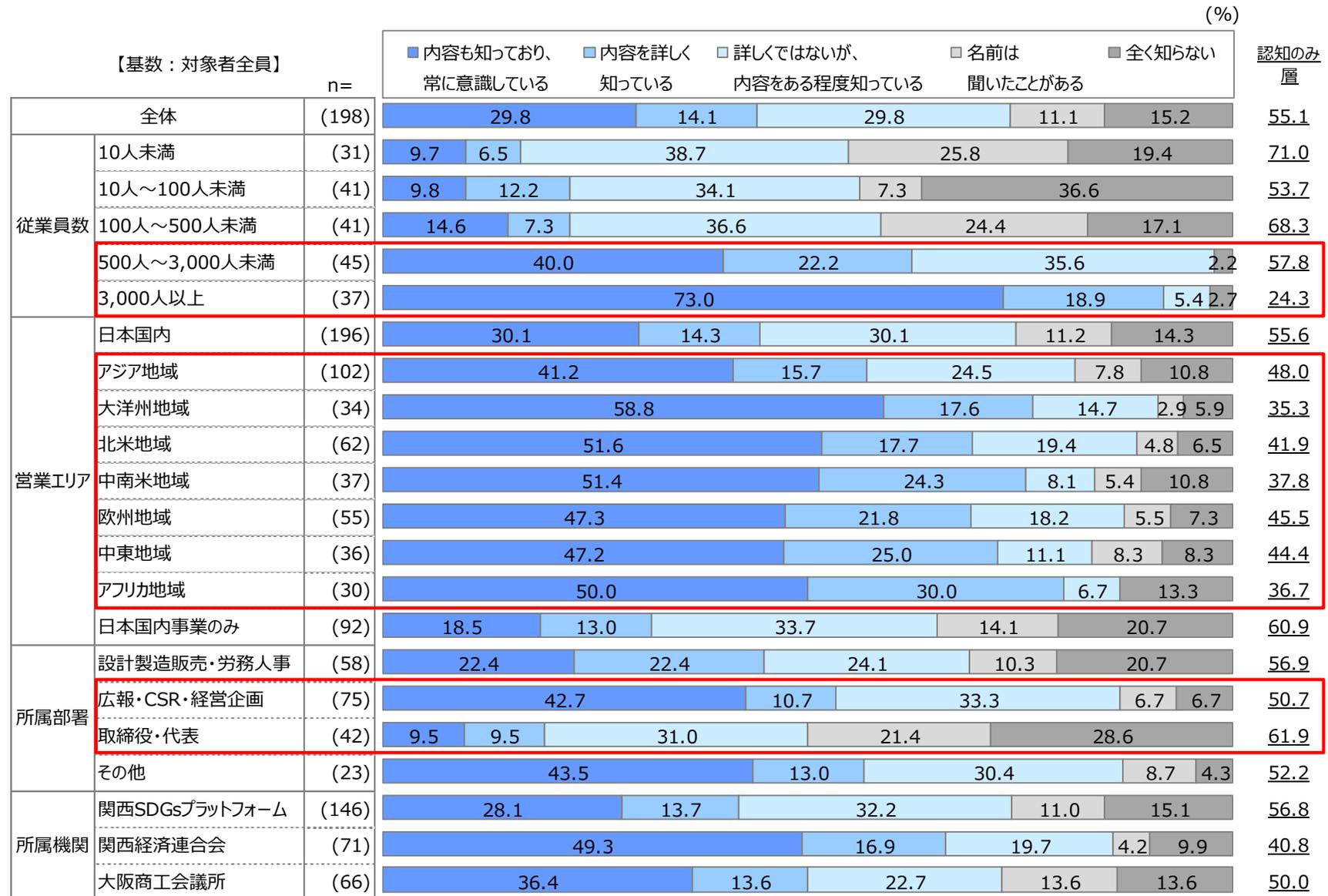
経営における課題	全体	n=	(%)					認知のみ
			内容も知っており、常に意識している	内容を詳しく知っている	詳しくではないが、内容がある程度知っている	名前は聞いたことがある	全く知らない	
	全体	(198)	47.0	16.2	34.8	1.0	52.0	
	収益性向上	(142)	50.7	17.6	28.9	1.4	47.9	
	人材の強化	(154)	45.5	18.2	34.4	0.6	53.2	
	人材流出の防止	(75)	49.3	18.7	29.3	2.7	48.0	
	社内教育システムの整備	(105)	42.9	20.0	35.2	1.0	56.2	
	売上・シェア拡大	(125)	45.6	15.2	36.0	1.6	52.8	
	新製品・新サービス・新事業の開発	(126)	54.0	15.9	28.6	0.8	45.2	
	事業基盤の強化・再編 (M&A・アライアンス・既存事業の選択と集中)	(88)	60.2	15.9	21.6	2.3	39.8	
	技術力・研究開発力の強化	(99)	52.5	15.2	29.3	2.0	46.5	
	顧客満足度の向上	(136)	46.3	16.9	34.6	0.7	52.2	
	各ステークホルダーとの連携強化	(94)	54.3	21.3	23.4	1.1	45.7	
	BCP対策などの事業継続	(92)	50.0	20.7	27.2	1.1	48.9	
	グローバル化 (グローバル経営)	(85)	55.3	14.1	28.2	2.4	44.7	
	品質向上 (商品・サービス・技術)	(131)	47.3	14.5	35.1	1.5	51.1	
	財務体質強化	(101)	52.5	18.8	26.7	1.0	46.5	
	現場力の強化	(116)	45.7	16.4	35.3	0.9	52.6	
	適切なコーポレート・ガバナンスの推進	(100)	52.0	21.0	25.0	1.0	47.0	
	ブランド力の向上、企業・団体コミュニケーション力の強化	(119)	51.3	17.6	28.6	1.7	47.9	
	高コスト体質の改善	(70)	50.0	20.0	28.6	1.4	48.6	
	企業ミッション・ビジョン・バリューの浸透や見直し	(95)	58.9	16.8	23.2	1.1	40.0	
	地域貢献・密着	(109)	48.6	17.4	32.1	0.9	50.5	
取り組んでいる目標	A あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる活動	(38)	71.1	7.9	21.1		28.9	
	B 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する活動	(33)	69.7	6.1	24.2		30.3	
	C あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する活動	(84)	71.4	15.5	13.1		28.6	
	D すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する活動	(77)	70.1	11.7	18.2		29.9	
	E ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う活動	(78)	65.4	17.9	16.7		34.6	
	F すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する活動	(53)	75.5	11.3	13.2		24.5	
	G すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する活動	(79)	67.1	16.5	16.5		32.9	
	H 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する活動	(112)	59.8	15.2	25.0		40.2	
	I 強靱なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る活動	(82)	62.2	18.3	19.5		37.8	
	J 各国内及び各国間の不平等を是正する活動	(51)	78.4	13.7	7.8		21.6	
	K 包摂的で安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間居住を実現する活動	(83)	67.5	14.5	18.1		32.5	
	L 持続可能な生産消費形態を確保する活動	(86)	64.0	17.4	18.6		36.0	
	M 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる活動	(88)	67.0	15.9	17.0		33.0	
	N 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する活動	(45)	80.0	6.7	13.3		20.0	
O 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の防止・回復及び生物多様性の損失を防止する活動	(68)	60.3	17.6	22.1		39.7		
P 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する活動	(40)	67.5	20.0	12.5		32.5		
Q 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する活動	(79)	64.6	17.7	17.7		35.4		

「事業基盤の強化・再編」「企業ミッション・ビジョン・バリューの浸透や見直し」を経営における課題にしている企業は、意識あり層が平均より10ポイント以上高かった。
また、「N：⑭海洋・海洋資源を持続可能な形で利用する活動」に取り組んでいる企業は意識あり層が8割に達した。

質問文 あなた（全社的な視点を有する方）は、【（2）ESG】について、どれくらいご存知ですか。それぞれ、下記の中から最も近いものをひとつだけお知らせください。

【基数：対象者全員】			（%）					認知のみ層
n=			■ 内容も知っており、常に意識している	■ 内容を詳しく知っている	■ 詳しくではないが、内容をある程度知っている	■ 名前は聞いたことがある	■ 全く知らない	
全体		(198)	29.8	14.1	29.8	11.1	15.2	55.1
性別	男性計	(155)	27.1	15.5	30.3	11.0	16.1	56.8
	女性計	(43)	39.5	9.3	27.9	11.6	11.6	48.8
年代別	30代以下	(46)	26.1	6.5	34.8	17.4	15.2	58.7
	40代	(58)	29.3	20.7	24.1	8.6	17.2	53.4
	50代	(70)	34.3	15.7	31.4	7.1	11.4	54.3
	60才以上	(24)	25.0	8.3	29.2	16.7	20.8	54.2
企業の所在地	大阪府	(125)	27.2	16.0	31.2	12.8	12.8	60.0
	大阪府以外	(73)	34.2	11.0	27.4	8.2	19.2	46.6
業種	第1次・2次産業 計	(89)	32.6	14.6	29.2	7.9	15.7	51.7
	第3次・4次産業 計	(89)	29.2	13.5	30.3	11.2	15.7	55.1
資本金	1億円未満	(90)	11.1	6.7	36.7	20.0	25.6	63.3
	1億円以上	(97)	47.4	18.6	25.8	1.0	7.2	45.4
売上	100億円未満	(94)	12.8	8.5	38.3	17.0	23.4	63.8
	100億円以上	(89)	49.4	18.0	23.6	2.2	6.7	43.8
ヒアリング可否	ヒアリング可能である	(88)	33.0	17.0	29.5	8.0	12.5	54.5
	ヒアリング不可能である	(110)	27.3	11.8	30.0	13.6	17.3	55.5

ESG意識あり層30%、認知のみ層55.1%、全く知らない人は15.2%。SDGsと比較すると認知率は低い。
資本金・売上が多い企業は意識している割合が多い。



従業員数が500人以上の企業、日本以外に営業エリアが広がっている企業はESG意識あり層が多い。
所属部署別みると、広報・CSR・経営企画は意識あり層が多いが、取締役・代表は少なかった。これらの傾向はSDGsと同様だった。

		【基数：対象者全員】	n=					(%)	認知のみ 層
			■ 内容も知っており、 常に意識している	■ 内容を詳しく 知っている	■ 詳しくではないが、 内容をある程度知っている	■ 名前は 聞いたことがある	■ 全く知らない		
	全体	(198)	29.8	14.1	29.8	11.1	15.2	55.1	
SDGs 意識度合	意識あり層	(93)	59.1		14.0	16.1	5.4	5.4	35.5
	認知のみ層	(103)	3.9	14.6	42.7	16.5	22.3	73.8	
SDGs 取組状況	社員が【個人レベル】で学んでいる	(86)	34.9	10.5	30.2	9.3	15.1	50.0	
	社員が【企業レベル】で学んでいる	(63)	42.9	19.0	28.6	3.2	6.3	50.8	
	【部署レベル】で取り組んでいる	(47)	53.2	21.3	21.3	4.3		46.8	
	【事業部レベル】で取り組んでいる	(39)	51.3	17.9	28.2	2.6		48.7	
	【企業・団体レベル】で取り組んでいる	(72)	54.2	11.1	22.2	9.7	2.8	43.1	
	【グループレベル】で取り組んでいる	(20)	65.0	10.0	15.0	10.0		25.0	
	取り組んでいない／詳しい取り組み内容は分からない	(25)	4.0	4.0	28.0	20.0	44.0	52.0	
	社員レベル	(124)	33.1	16.1	29.8	8.1	12.9	54.0	
	部署レベル	(65)	46.2	21.5	27.7	4.6		53.8	
	企業・団体レベル	(75)	54.7	10.7	21.3	9.3	4.0	41.3	
	取り組んでいない	(25)	4.0	4.0	28.0	20.0	44.0	52.0	
SDGs 取組目的 CSR	社会貢献／CSRの一環 あてはまる	(133)	29.3	14.3	33.1	9.8	13.5	57.1	
	社会貢献／CSRの一環 あてはまらない	(65)	30.8	13.8	23.1	13.8	18.5	50.8	
SDGs 取組目的 万博	大阪・関西万博のため あてはまる	(31)	51.6	12.9	25.8	6.5	3.2	45.2	
	大阪・関西万博のため あてはまらない	(167)	25.7	14.4	30.5	12.0	17.4	56.9	

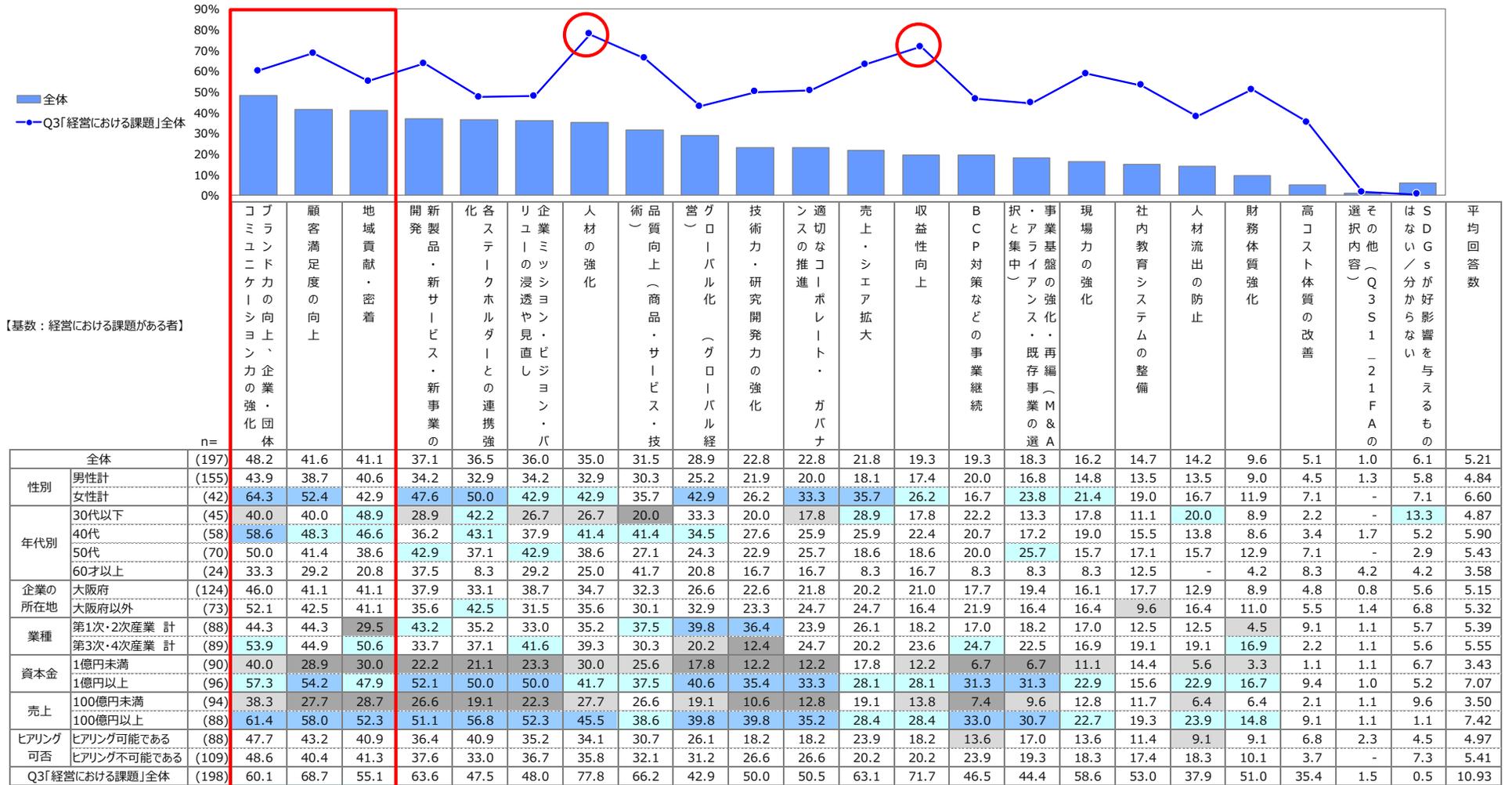
SDGs意識あり層はESGの意識も59.1%と高かった。
SDGsに部署レベル、企業・団体レベルで取り組んでいる企業で、ESG意識あり層が多かった。

		【基数：対象者全員】					n=					(%)	認知の み 度	
		全体												
			内容も知っており、 常に意識している	内容を詳しく 知っている	詳しくではないが、 内容がある程度知っている	名前には 聞いたことがある	全く知らない							
経営 にお ける 課 題	収益性向上	(198)	29.8	14.1	29.8	11.1	15.2	55.1						
	人材の強化	(142)	35.2	14.8	25.4	10.6	14.1	50.7						
	人材流出の防止	(75)	42.7	13.3	28.0	4.0	12.0	45.3						
	社内教育システムの整備	(105)	31.4	13.3	29.5	10.5	15.2	53.3						
	売上・シェア拡大	(125)	32.8	11.2	29.6	9.6	16.8	50.4						
	新製品・新サービス・新事業の開発	(126)	35.7	16.7	25.4	7.1	15.1	49.2						
	事業基盤の強化・再編 (M&A・アライアンス・既存事業の選択と集中)	(88)	46.6	15.9	23.9	3.4	10.2	43.2						
	技術力・研究開発力の強化	(99)	38.4	11.1	27.3	8.1	15.2	46.5						
	顧客満足度の向上	(136)	33.1	14.7	27.2	8.1	16.9	50.0						
	各ステークホルダーとの連携強化	(94)	46.8	13.8	25.5	7.4	6.4	46.8						
	BCP対策などの事業継続	(92)	41.3	17.4	29.3	4.3	7.6	51.1						
	グローバル化 (グローバル経営)	(85)	40.0	14.1	23.5	9.4	12.9	47.1						
	品質向上 (商品・サービス・技術)	(131)	32.1	13.0	30.5	8.4	16.0	51.9						
	財務体質強化	(101)	37.6	14.9	28.7	8.9	9.9	52.5						
	現場力の強化	(116)	33.6	14.7	30.2	7.8	13.8	52.6						
	適切なコーポレート・ガバナンスの推進	(100)	44.0	17.0	28.0	5.0	6.0	50.0						
	ブランド力の向上、企業・団体コミュニケーション力の強化	(119)	37.8	16.0	24.4	10.1	11.8	50.4						
	高コスト体質の改善	(70)	38.6	18.6	30.0	1.4	11.4	50.0						
	企業ミッション・ビジョン・バリューの浸透や見直し	(95)	43.2	18.9	18.9	9.5	9.5	47.4						
	地域貢献・密着	(109)	35.8	12.8	27.5	11.0	12.8	51.4						
取 り 組 ん で い る 目 標	A あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる活動	(38)	50.0	15.8	18.4	7.9	7.9	42.1						
	B 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する活動	(33)	51.5	12.1	15.2	9.1	12.1	36.4						
	C あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する活動	(84)	54.8	19.0	19.0	2.4	4.8	40.5						
	D すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する活動	(77)	44.2	16.9	27.3	7.8	3.9	51.9						
	E ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う活動	(78)	44.9	20.5	19.2	7.7	7.7	47.4						
	F すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する活動	(53)	62.3	15.1	17.0	3.8	1.9	35.8						
	G すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する活動	(79)	50.6	13.9	30.4	1.3	3.8	45.6						
	H 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する活動	(112)	39.3	15.2	30.4	6.3	8.9	51.8						
	I 強靱なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る活動	(82)	46.3	14.6	32.9	2.4	3.7	50.0						
	J 各国内及び各国間の不平等を是正する活動	(51)	49.0	17.6	19.6	5.9	7.8	43.1						
	K 包摂的で安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間居住を実現する活動	(83)	48.2	15.7	22.9	6.0	7.2	44.6						
	L 持続可能な生産消費形態を確保する活動	(86)	47.7	18.6	26.7	3.5	3.5	48.8						
	M 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる活動	(88)	52.3	15.9	26.1	1.1	4.5	43.2						
	N 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する活動	(45)	62.2	17.8	15.6	2.2	2.2	35.6						
	O 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する活動	(68)	41.2	16.2	30.9	4.4	7.4	51.5						
	P 持続可能な開発のための平和と包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する活動	(40)	57.5	17.5	22.5	2.5	2.5	40.0						
Q 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する活動	(79)	40.5	19.0	30.4	5.1	5.1	54.4							

「事業基盤の強化・再編」「各ステークホルダーとの連携強化」を経営における課題にしている企業は、ESG意識あり層が平均より15ポイント以上高かった。また、「F：⑥水と衛生を確保する活動」「N：⑭海洋・海洋資源を持続可能な形で利用する活動」のSDGs目標に取り組んでいる企業はESG意識あり層が6割に達した。

質問文

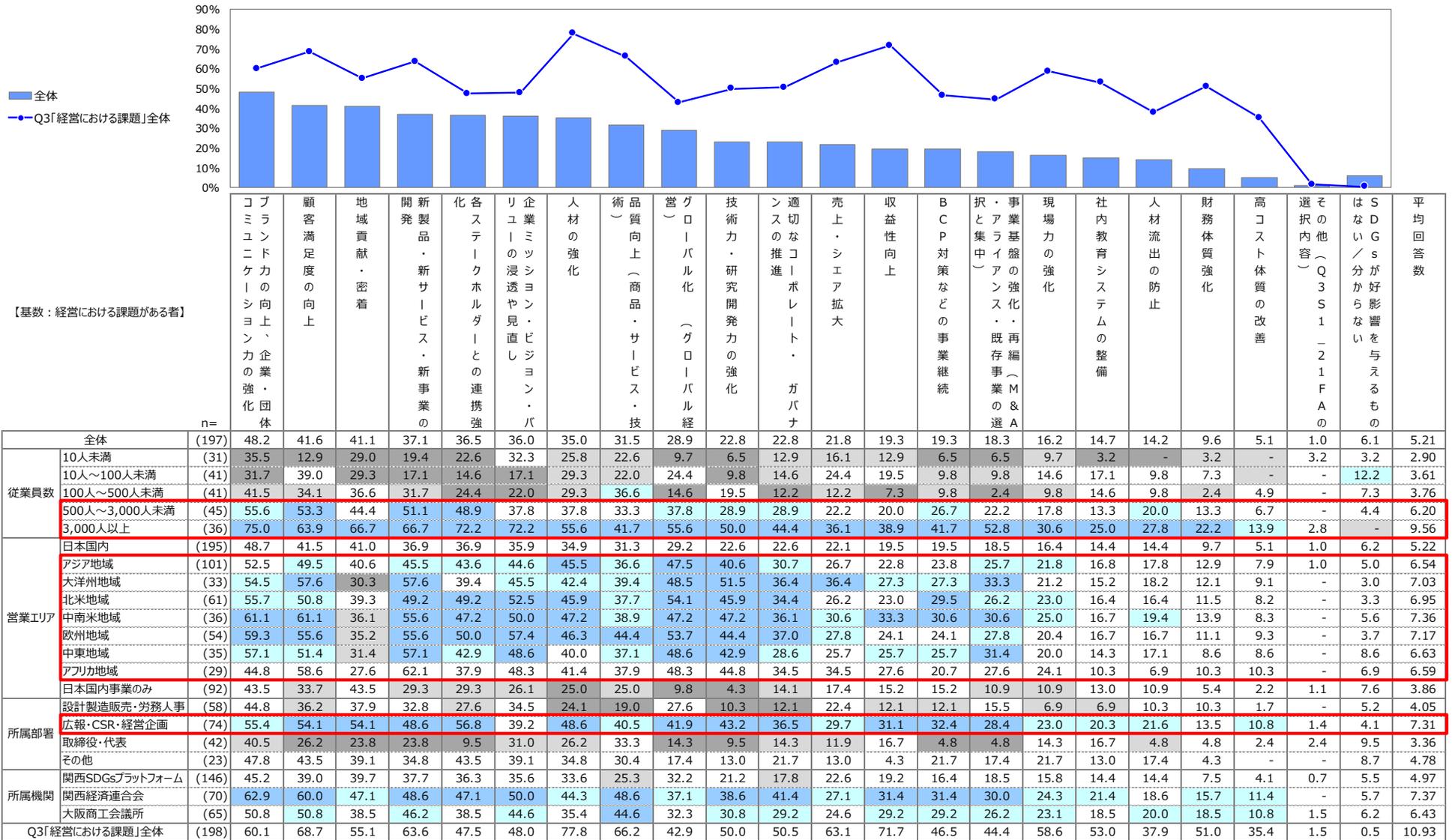
Q3でお答えになった経営における課題について、【SDGsが好影響を与えると思われるもの】はございますか。あてはまるものをすべてお知らせください。



【基数：経営における課題がある者】

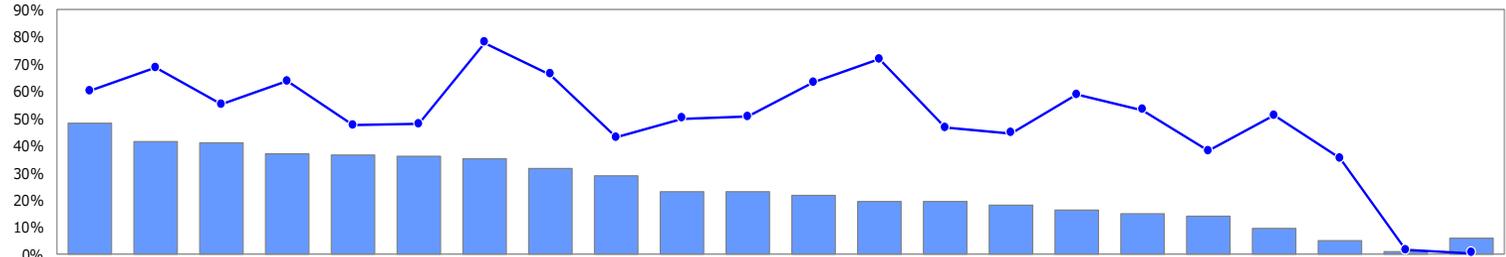
※全体の降順
 ※ n ≥ 30で、 ■ : 全体より10Pt.以上高い値 ■ : 全体より5Pt.以上高い値 ■ : 全体より10Pt.以上低い値 ■ : 全体より5Pt.以上低い値

SDGsが好影響を与えると思われる経営課題は「ブランド力の向上、企業・団体コミュニケーション力の強化」「顧客満足度の向上」「地域貢献・密着」が4割を超えて高かった。経営課題認識が強かった「人材の強化」については35.0%、「収益性向上」については19.3%と、SDGsが好影響を与えるという認識は強くなかった。



※全体の降順
※ n≥30で、■：全体より10Pt.以上高い値 □：全体より5Pt.以上高い値 ▨：全体より10Pt.以上低い値 ▩：全体より5Pt.以上低い値

従業員数が500人以上の企業、日本以外に営業エリアが広がっている企業は、全体的に、経営課題にSDGsが好影響を与えるという認識が強い。
所属部署別にみると、広報・CSR・経営企画の意識は高いが、他の部署は低かった。



【基数：経営における課題がある者】

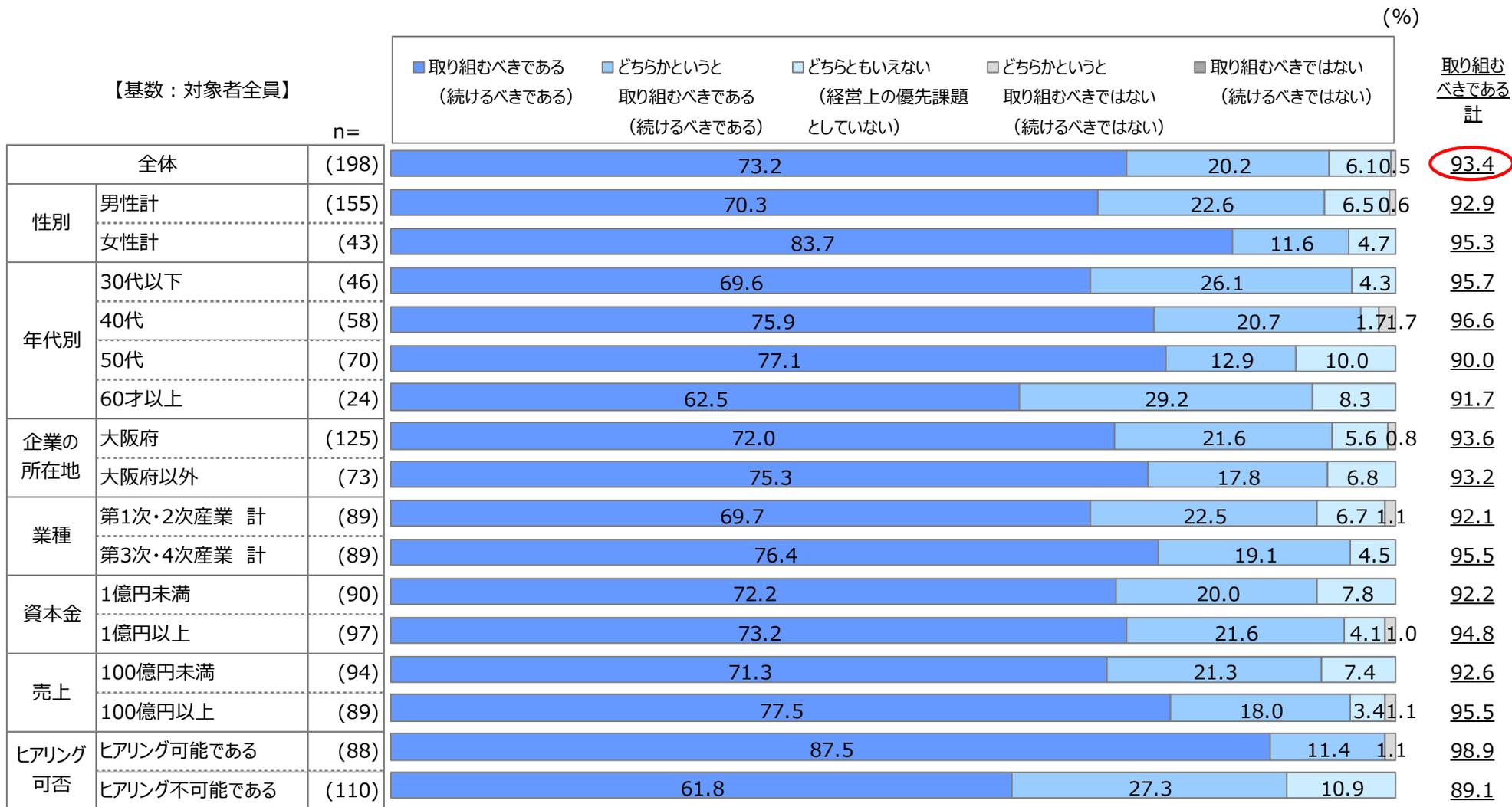
	n=	コ プ ラ ン ド ケ ー シ ョ ン 、 企 業 ・ 団 体	顧 客 満 足 度 の 向 上	地 域 貢 献 ・ 密 着	開 発 新 製 品 ・ 新 サ ー ビ ス ・ 新 事 業	各 サ ー ビ ス ・ ホ ル ダ ー と の 連 携 強 化	企 業 ミ ッ シ ョ ン ・ バ リ エ ー シ ョ ン ・ ビ ジ ョ ン	人 材 の 強 化	術 品 質 向 上 （ 商 品 ・ サ ー ビ ス ・ 技 術 ）	営 グ ロ ー バ ル 化 （ グ ロ ー バ ル 経 営 ）	技 術 力 ・ 研 究 開 発 力 の 強 化	適 切 な コ ー ポ レ ー ト ・ ガ バ ナ ン ス の 推 進	売 上 ・ シ ェ ア 拡 大	収 益 性 向 上	B C P 対 策 な ど の 事 業 継 続	折 と 集 中 ）	事 業 基 盤 の 強 化 ・ 再 編 （ M & A 選 ）	現 場 力 の 強 化	社 内 教 育 シ ス テ ム の 整 備	人 材 流 出 の 防 止	財 務 体 質 強 化	高 コ ス ト 体 質 の 改 善	選 択 内 容 （ Q 3 S 1 - 2 1 F A の そ の 他 ）	は な い ／ 分 か ら な い S D G s が 好 影 響 を 与 え る も の	平 均 回 答 数
全体	(197)	48.2	41.6	41.1	37.1	36.5	36.0	35.0	31.5	28.9	22.8	22.8	21.8	19.3	19.3	18.3	16.2	14.7	14.2	9.6	5.1	1.0	6.1	5.21	
SDGs意識度合																									
意識あり層	(92)	55.4	43.5	44.6	52.2	44.6	46.7	39.1	32.6	42.4	31.5	31.5	27.2	27.2	23.9	30.4	23.9	21.7	18.5	15.2	9.8	1.1	3.3	6.63	
認知のみ層	(103)	42.7	40.8	38.8	24.3	30.1	27.2	32.0	31.1	17.5	15.5	15.5	17.5	12.6	15.5	7.8	9.7	8.7	10.7	4.9	1.0	1.0	6.8	4.05	
SDGs取組状況別																									
社員が【個人レベル】で学んでいる	(85)	49.4	45.9	45.9	34.1	37.6	37.6	36.5	35.3	30.6	23.5	23.5	20.0	18.8	16.5	17.6	17.6	17.6	15.3	12.9	8.2	4.7	1.2	3.5	5.33
社員が【企業レベル】で学んでいる	(62)	58.1	56.5	51.6	51.6	51.6	45.2	38.7	37.1	38.7	32.3	30.6	25.8	24.2	27.4	25.8	19.4	21.0	17.7	12.9	8.1	1.6	4.8	6.76	
【部署レベル】で取り組んでいる	(46)	67.4	54.3	50.0	56.5	52.2	58.7	43.5	47.8	39.1	32.6	39.1	28.3	32.6	28.3	32.6	17.4	15.2	19.6	15.2	4.3	2.2	2.2	7.37	
【事業部レベル】で取り組んでいる	(38)	60.5	50.0	52.6	50.0	52.6	52.6	50.0	42.1	39.5	36.8	39.5	34.2	34.2	26.3	36.8	23.7	23.7	18.4	15.8	13.2	2.6	2.6	7.55	
【企業・団体レベル】で取り組んでいる	(71)	59.2	47.9	54.9	54.9	57.7	53.5	43.7	35.2	45.1	33.8	38.0	26.8	33.8	29.6	36.6	19.7	16.9	18.3	15.5	8.5	1.4	2.8	7.31	
【グループレベル】で取り組んでいる	(20)	60.0	65.0	70.0	55.0	65.0	50.0	65.0	50.0	45.0	50.0	45.0	40.0	45.0	40.0	45.0	30.0	30.0	25.0	20.0	10.0	5.0	5.0	9.10	
取り組んでいない／詳しい取り組み内容は分からない	(25)	28.0	32.0	16.0	20.0	4.0	16.0	32.0	28.0	20.0	12.0	16.0	16.0	12.0	12.0	-	12.0	16.0	8.0	4.0	-	4.0	16.0	3.08	
社員レベル	(123)	50.4	46.3	46.3	38.2	39.8	39.8	34.1	31.7	31.7	24.4	22.0	22.0	19.5	19.5	19.5	16.3	14.6	13.8	8.9	6.5	0.8	4.1	5.46	
部署レベル	(64)	62.5	48.4	46.9	51.6	48.4	50.0	43.8	40.6	39.1	31.3	34.4	29.7	31.3	26.6	28.1	20.3	17.2	17.2	14.1	7.8	1.6	1.6	6.91	
企業・団体レベル	(74)	58.1	47.3	56.8	54.1	58.1	52.7	44.6	35.1	43.2	36.5	39.2	27.0	33.8	29.7	36.5	20.3	17.6	18.9	16.2	8.1	1.4	2.7	7.35	
取り組んでいない	(25)	28.0	32.0	16.0	20.0	4.0	16.0	32.0	28.0	20.0	12.0	16.0	16.0	12.0	12.0	-	12.0	16.0	8.0	4.0	-	4.0	16.0	3.08	
SDGs取組目的CSR																									
社会貢献／CSRの一環 あてはまる	(133)	51.9	43.6	46.6	36.8	39.1	37.6	36.1	33.8	36.1	27.8	26.3	22.6	24.8	24.8	20.3	15.0	14.3	15.0	12.0	6.8	0.8	4.5	5.72	
社会貢献／CSRの一環 当てはまらない	(64)	40.6	37.5	29.7	37.5	31.3	32.8	32.8	26.6	14.1	12.5	15.6	20.3	7.8	7.8	14.1	18.8	15.6	12.5	4.7	1.6	1.6	9.4	4.16	
SDGs取組目的万博																									
大阪・関西万博のため あてはまる	(31)	67.7	51.6	51.6	54.8	51.6	51.6	45.2	38.7	45.2	38.7	38.7	35.5	35.5	32.3	32.3	25.8	25.8	22.6	16.1	-	-	-	-	7.87
大阪・関西万博のため 当てはまらない	(166)	44.6	39.8	39.2	33.7	33.7	33.1	33.1	30.1	25.9	19.9	19.9	19.3	16.3	16.9	15.7	14.5	12.7	12.0	7.2	3.0	1.2	7.2	4.72	
Q3「経営における課題」全体	(198)	60.1	68.7	55.1	63.6	47.5	48.0	77.8	66.2	42.9	50.0	50.5	63.1	71.7	46.5	44.4	58.6	53.0	37.9	51.0	35.4	1.5	0.5	10.93	

※全体の降順

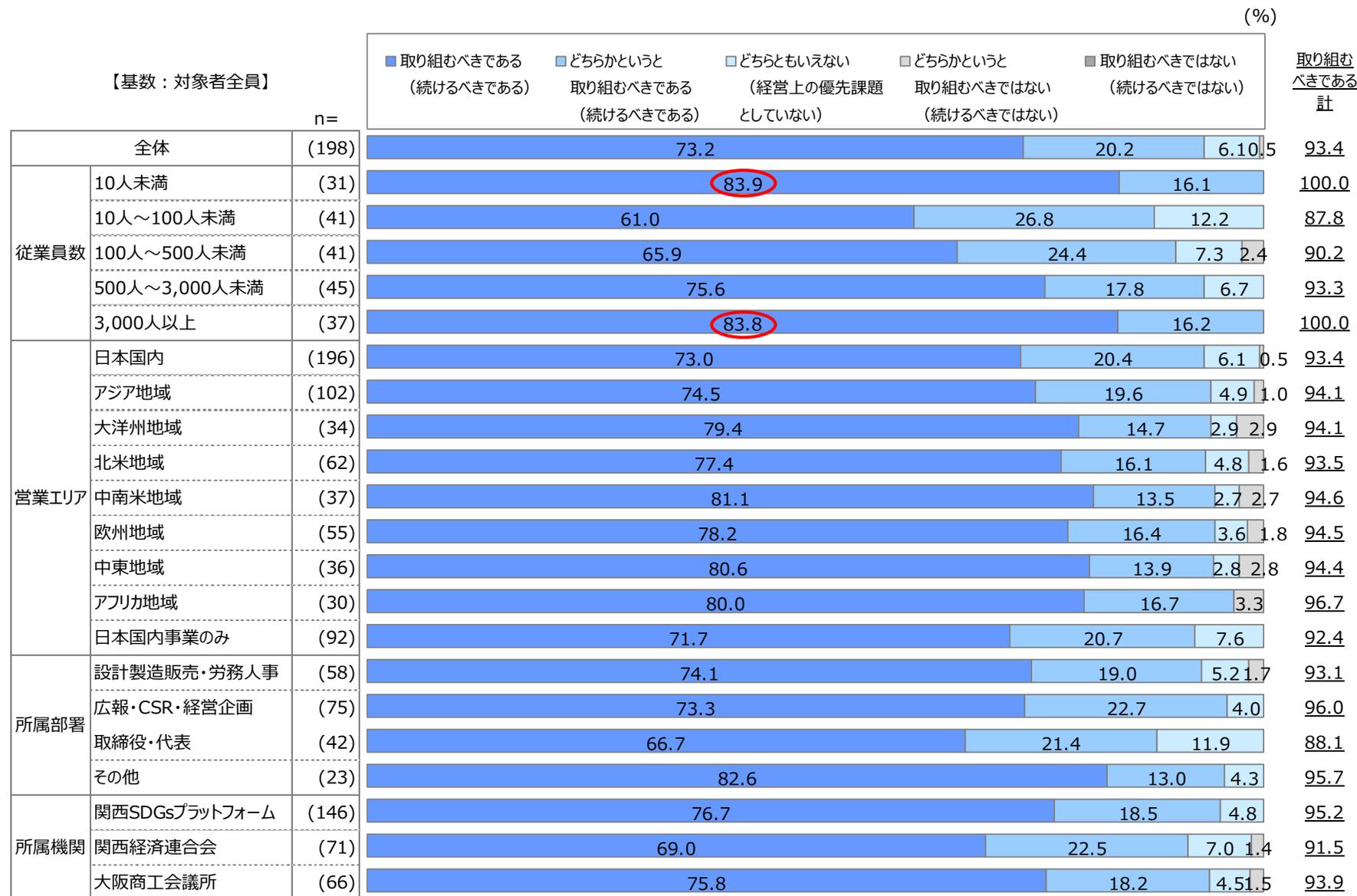
※ n ≥ 30で、■：全体より10Pt.以上高い値 □：全体より5Pt.以上高い値 ▨：全体より10Pt.以上低い値 ▩：全体より5Pt.以上低い値

SDGs意識あり層は認知のみ層と比べてSDGsが好影響を与えるという意識が強く、特に「新製品・新サービス・新事業の開発」「グローバル化」「事業基盤の強化・再編」で差がみられた。SDGsに部署レベル、企業・団体レベルで取り組んでいる企業で意識が強かった。

質問文 SDGsについて、所属する企業で継続的に取り組んでいくべきだと思いますか。
下記の中から最も近いものをひとつだけお知らせください。
※既に取り組まれている場合は、今後も取り組み続けるべきかどうかでお答えください。

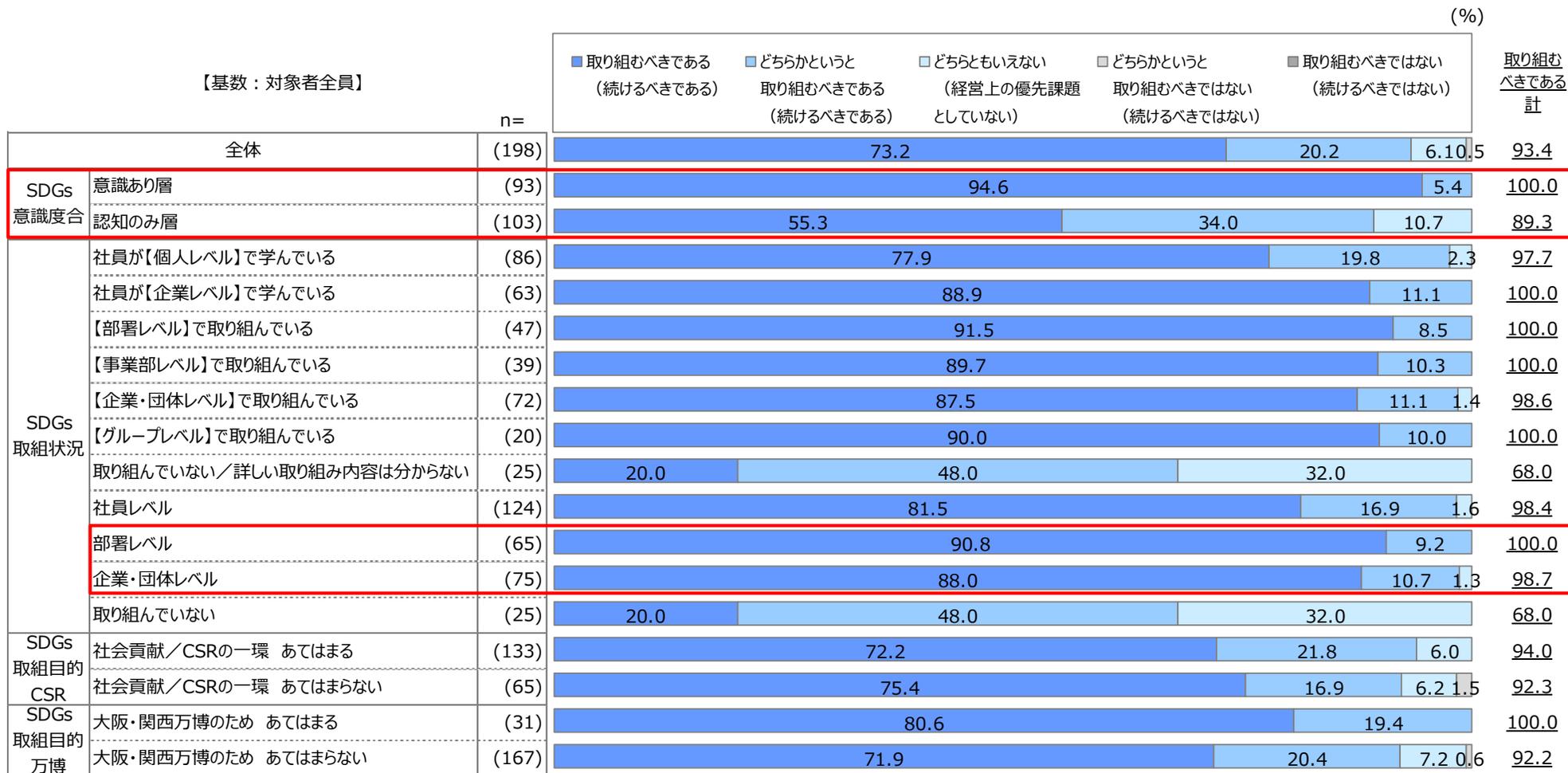


SDGsに継続的に取り組むべきであると回答した企業は全体の93.4%で、本アンケートに回答した企業のほとんどがSDGs取組意欲をもっていた。



従業員数が10人未満の企業、3,000人以上の企業では、平均と比べて「取り組むべきである」が10ポイント以上高かった。

【基数：対象者全員】



SDGs意識あり層は100%がSDGs取組意欲を持っていた。認知のみ層と比べて「取り組むべきである」のスコアに大きく差が見られた。
また、部署レベル、企業・団体レベルでSDGsに取り組んでいる企業は「取り組むべきである」のスコアが高かった。

【基数：対象者全員】

		n=	(%)				取組むべきである
			■ 取り組むべきである (続けるべきである)	■ どちらかという と取り組むべきである (続けるべきである)	■ どちらともいえない (経営上の優先課題 としていない)	■ どちらかという と取り組むべきではない (続けるべきではない)	■ 取り組むべきではない (続けるべきではない)
	全体	(198)	73.2	20.2	6.1	0.5	93.4
経営における課題	収益性向上	(142)	76.1	19.0	4.2	0.7	95.1
	人材の強化	(154)	72.7	21.4	5.2	0.6	94.2
	人材流出の防止	(75)	74.7	18.7	5.3	1.3	93.3
	社内教育システムの整備	(105)	72.4	21.0	5.7	1.0	93.3
	売上・シェア拡大	(125)	72.8	20.8	5.6	0.8	93.6
	新製品・新サービス・新事業の開発	(126)	73.0	21.4	4.8	0.8	94.4
	事業基盤の強化・再編 (M&A・アライアンス・既存事業の選択と集中)	(88)	78.4	18.2	3.4		96.6
	技術力・研究開発力の強化	(99)	75.8	19.2	4.0	1.0	94.9
	顧客満足度の向上	(136)	72.1	21.3	5.9	0.7	93.4
	各ステークホルダーとの連携強化	(94)	81.9	17.0	1.1		98.9
	BCP対策などの事業継続	(92)	77.2	18.5	3.3	1.1	95.7
	グローバル化 (グローバル経営)	(85)	75.3	18.8	5.9		94.1
	品質向上 (商品・サービス・技術)	(131)	73.3	21.4	4.6	0.8	94.7
	財務体質強化	(101)	77.2	17.8	4.0	1.0	95.0
	現場力の強化	(116)	73.3	21.6	4.3	0.9	94.8
	適切なコーポレート・ガバナンスの推進	(100)	75.0	20.0	4.0	1.0	95.0
	ブランド力の向上、企業・団体コミュニケーション力の強化	(119)	74.8	20.2	4.2	0.8	95.0
	高コスト体質の改善	(70)	75.7	21.4	1.4	1.4	97.1
	企業ミッション・ビジョン・バリューの浸透や見直し	(95)	83.2	14.7	1.1	1.1	97.9
	地域貢献・密着	(109)	74.3	20.2	4.6	0.9	94.5
取り組んでいる目標	A あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる活動	(38)	86.8	7.9	5.3		94.7
	B 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する活動	(33)	90.9	6.1	3.0		97.0
	C あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する活動	(84)	88.1	9.5	2.4		97.6
	D すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する活動	(77)	85.7	11.7	2.6		97.4
	E ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う活動	(78)	84.6	12.8	2.6		97.4
	F すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する活動	(53)	86.8	11.3	1.9		98.1
	G すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する活動	(79)	87.3	11.4	1.3		98.7
	H 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する活動	(112)	78.6	20.5	0.9		99.1
	I 強靱なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る活動	(82)	79.3	19.5	1.2		98.8
	J 各国内及び各国間の不平等を是正する活動	(51)	90.2	9.8			100.0
	K 包摂的で安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間居住を実現する活動	(83)	83.1	14.5	2.4		97.6
	L 持続可能な生産消費形態を確保する活動	(86)	86.0	12.8	1.2		98.8
	M 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる活動	(88)	85.2	12.5	2.3		97.7
	N 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する活動	(45)	84.4	13.3	2.2		97.8
	O 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する活動	(68)	80.9	16.2	2.9		97.1
	P 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する活動	(40)	80.0	20.0			100.0
	Q 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する活動	(79)	88.6	11.4			100.0

※ n≥30で、■：全体より10Pt.以上高い値 ■：全体より5Pt.以上高い値 ■：全体より10Pt.以上低い値 ■：全体より5Pt.以上低い値

SDGs17目標に取り組んでいる企業は「取り組むべきである」のスコアが全体的に高い。